



# 天文資料

## 2019年 1月号

平成30年度 第10号 (1月号)

平成30年12月21日

発行：佐世保市少年科学館

佐世保市少年科学館



### <新年 あけまして おめでとうございます>

12月に入ってから、九州各地で「夏日」が観測されました。記憶にないほどの気温の高さでしたが、大雪を迎えた頃から本来の気温に戻ったようです。

そのような中で新年を迎えました。皆様、あけましておめでとうございます。

本年も少年科学館をよろしくお願いいたします。

2019年の星空は、7つの一等星が輝く華やかな星空が迎えてくれます。

先陣を切って昇ってくるぎよしゃ座とおうし座は、前号で紹介しました。今月はいよいよ真打オリオン座の登場です。きれいに並んだ三つ星と、それを囲むように4つの明るい星が輝く姿は誰もが目を引かれると思います。日本でも古くか

ら能楽に使うつづみに似ているということから「つづみ星」という名前と呼ばれていました。

その南には、恒星の中で全天一の明るさを誇るシリウスが輝くおおいぬ座があります。中国では、シリウスのギラギラとした輝きを狼の目に見立てて「天狼星」と呼んでいました。

オリオン座の東側には、こいぬ座のプロキオンが輝いています。このプロキオンとオリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウスを結ぶと三角形ができあがりますが、これが「冬の大きな三角」です。この中を冬の天の川が流れています。

こいぬ座の上にはポルクス(一等星)とカストル(二等星)が輝くふたご座があります。似たような明るさの星が仲良く並んでいるので、すぐわかると思います。

見どころ満載の冬の星空、防寒対策をしっかりと楽しく観望してください。

この先をウィルタネン彗星が移動中



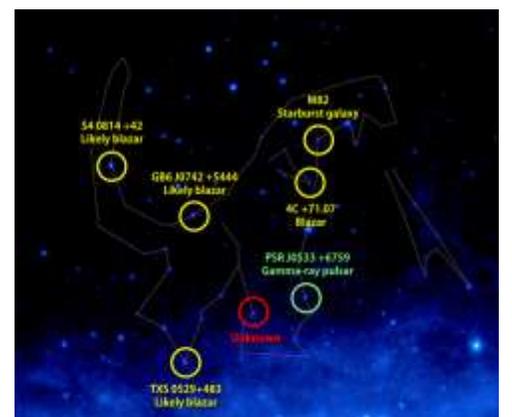
国立天文台 HP より



### <ガンマ線天体をつないだ星座にゴジラ座が登場！>

NASAのガンマ線天文衛星フェルミは、パルサーや超新星爆発といった銀河系内の現象から宇宙で最も高エネルギーの現象であるガンマ線バーストまで、様々なガンマ線源を全天にわたって観測しています。そのフェルミの運用10周年を記念し、NASAは天球上のガンマ線源を結んで、探索した新しい星座21個を発表しました。ここに日本に関係する「ゴジラ座」「ふじさん座」も採用されました。

※ この星座は国際天文学連合によって定められた88星座とは別です。



ゴジラ座(NASA/東宝株式会社)

(M82はおおぐま座にある銀河です)